みわを元気に

三和地域協議会ニュース　第２１号　平成３０年９月２０日発行

三和地域の人口・世帯数
男　1,639人
女　1,708人
合　計　3,347人
世帯数　1,690世帯
（平成30年８月末 現在）

発行：三和地域協議会
編集：広報編集委員会

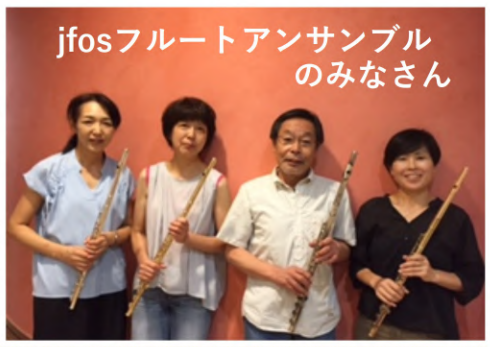
みわふれあいカフェ ３周年記念コンサート 10/20（土）in 大原神社

「みわふれあいカフェ」は、８月で３周年を迎えました。感謝の気持ちを込めて、今年も記念コンサートを開催します。

平成３０年１０月２０日（土）
大原神社　絵馬殿にて

午後２時～　みわふれあいカフェスタート

午後３時～　コンサート開催



今回は「jfosフルートアンサンブル」によるフルートの演奏をお楽しみください。

駐車場は、大原農村公園のご利用をお願いします。

みわふれあいカフェは、
毎週金曜日 午前９時～１０時半
いこいの広場にて開催中！！（雨天中止）

待望のスーパー、来年開業へ
―千束市有地活用事業の候補事業者決まる―

本年2月に30年間千束地区で営業を続けてきたスーパーマーケット、「Mマート三和店」が閉店し、三和地域内で日常生活用品・食品全般を扱う店舗がなくなってしまいました。

「このままでは暮らしていけない」「せめて日々のおかずや日用品は三和で買えるようにならないか」という地域住民のみなさんの切実な願いを受けて、三和地域協議会では地域の諸団体、市役所三和支所と連携して取り組みを進めてきました。

早速2月26日には地域内の諸団体（自治会長会、民生児童委員、社会福祉協議会、老人クラブ、その他経済・福祉関係諸団体）に呼びかけ、「三和地域生活拠点機能維持検討委員会」を立ち上げ、住民として取り組める対策等について検討しました。その結果、福知山市長に対し「要望書」を提出することとなり、3月7日の第2回委員会でその内容を確認し、3月9日に福知山市に提出しました。

具体的な要望内容は次のとおりです。

1．三和地域住民が日常生活用品を購入するための「みわひまわりライド」の「スーパーセンターPLANT―3」への運行について、福知山市有償運送協議会での同意や関係機関の認可が早急に得られるよう、ご指導、ご援助をいただくこと。

2．三和地域内で買い物が可能な商業施設が立地するよう、新たな事業者の誘致について早急に対策を講じること。

要望1の「みわひまわりライド」のスーパーセンターPLANT―3への運行については、市役所と近畿運輸局京都運輸支局のご理解をいただき、4月からの運行が可能となりました。また、移動販売車によるサービスも始まりましたが、やはり「地域内にスーパーマーケットが欲しい」という声は、住民だけでなく福祉関係者や工業団地企業からもますます強くなっていました。

ミニフレッシュが三和に

そんななか、福知山市では活用を検討していた三和町内の市有地（千束地区の給食センター建設予定跡地）について、公募型プロポーザル方式での活用を募集し、8月24日の選定委員会を経て、候補となる事業者が決定しました。

候補事業者となったのは「(株)さとう」というフレッシュフロンティア」で、福知山市に本社がある「(株)さとう」のグループ会社になります。主に兵庫県但馬地方を中心に「フレッシュバザール」「ミニフレッシュ」の店舗を展開されており、一昨年6月には夜久野町で「ミニフレッシュ」を開店しています。

今後、市との詳細な協議を経て正式の協定を結ぶことになりますが、公募提案のなかでは来年7月の開店をめざすとされており、三和地域にとってはきわめてありがたい朗報といえるでしょう。

事業用地については20年間の「事業用定期借地権設定契約」になりますが、20年といわず末永くこの地域で営業していただけるよう、地域住民あげて利用・応援したいものです。また、生活に必要な機能ができるだけ充実するよう、要望していきたいと考えています。

三和地域協議会ではスーパーの早期開業に向けて、住民のみなさんの要望をできるだけ反映できるよう努力するとともに、「みわひまわりライド」のさらなる活用・普及に取り組んでいきたいと思います。みなさんのご意見やご要望を寄せていただきますよう、よろしくお願いいたします。

利用候補事業者が決定した千束の市有地（図内左上）

地域のつながりを大切に思うこと。

三和地区
民生児童委員協議会
会長　佐々木　康子

民生委員制度は、昨年、制度創設百周年という節目を迎えました。私たちは、先達から活動を受け継ぎ、その方々から、構築された信頼も受け継ぎ、民生委員をさせていただいています。

民生委員とは「非常勤の特別職の地方公務員」で児童委員を兼ねて、任期3年で社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って、相談や必要な援助をし、各行政機関につなげることを基本としています。

三和地区民生児童委員協議会は、17名の民生児童委員と2名の主任児童委員、計19名で構成されています。協議会の中には「企画総務部会」「児童福祉部会」「高齢者福祉部会」「社会福祉部会」という専門部会があり、委員はそれぞれ部会に所属し、仕事を担当しています。主な事業は▽熱中症や振り込め詐欺等の注意喚起▽希薄化した人間関係、多様かつ複層化した問題の相談・支援▽保育園・小学校・中学校との連携や、参観日、行事参加▽各地域行事への参加▽高齢者を対象とした日帰り旅行▽福祉施設へのボランティア・訪問▽災害時における要支援者への声かけ、被災地へのボランティア等、出来る範囲で協力し、継続した活動をしています。

来春には、小中一貫校として三和学園もスタートし、来夏にはスーパーもオープンする運びとなり、皆様の生活が安定し、安心して暮らせることを、喜んでおります。

今日では、少子高齢化で複雑な社会情勢ですが、これからも私たちは、子どもの成長を見守り、高齢者の方々の支えになれますよう、又、この制度が更に百年先まで続くことを切に願っております。

今年も盛大に開催 みわ夏まつり

8月14日、みわ夏まつりが三和荘で開催されました。三和八幡太鼓の演奏でスタートし、初出演の「ポップコーン」や「テレキャスバンド」のステージ、ビンゴ大会で盛り上がりました。

ステージ以外にも鉄道模型電動カーや金魚・メダカすくい、スーパーボールすくいといったコーナーや、かき氷・焼き鳥・キャベツ焼き・焼きそばなどの屋台が並びました。三和町内はもちろん、町外からも多くの方にお越しいただき、約2千6百人のみなさんが楽しい時間を過ごされました。

今年もたくさんのご協賛をいただき、盛大に開催することができました。ありがとうございました。

明るいうちからこのにぎわい

子供に大人気のミニＳＬ

すくいものも好評でした

最後はやっぱり花火

ポップコーンのメンバーには三和でおなじみの方も

ビンゴは今年も大盛り上がり

テレキャスバンドのステージ

将来の地域自治存続の不安が浮き彫りに
ー三和地域自治会組長アンケート結果ー

三和地域では、引き続く過疎高齢化のもとで人口減、世帯減、空き家の増加など、地域で暮らし続けることが困難になる状況が続いています。

このような中、三和地域協議会では昨年10月から公共交通空白地有償運送事業「みわひまわりライド」を運行するなど、住み続けられる地域としての「三和」を守る様々な活動を進めています。

しかし一方で、住民自治の主体である各自治会やそれを支える「組」の活動は、ますます厳しくなってきている現状があります。

「三和地域協議会生活基盤部会」では、平成29年度から「地域自治の維持存続についての調査・研究」をテーマにして検討を進めて参りました。そのなかで、地域自治活動の実態をより詳しく把握するため、「**三和地域の自治会活動に関するアンケート**」をそれぞれの自治会のご協力をいただき、本年7月に実施しました。

このアンケートは、三和地域の自治会を担う「組長」さんを対象とし、日常の活動の実態や、将来の世帯状況等の予測、自治会での役割や役員の確保などに対する考え等をお聞きしたものです。アンケートは町内全域で約150ある「組」のうち、130組（80％以上）から回答をいただきました。

アンケートは組の世帯数や世帯の状況（高齢化、独居、子供の有無など）、5年後、10年後の「組」の状況予測、役職の確保・継承、空き家の状況、今後の「組」の存続に必要なことなどについて、現状を聞いています。

そんななかで、5年後、10年後の組の状況については、世帯の大幅減、役員確保の困難な状況が予測されています。また、「道つくり」や「神社の当番」などについては、「組」単位で実施されているところが多いのですが、それらの行事や役務そのものが大きな負担となっているという実態が明らかになりました。

しかし一方で、役務等を組合同で行うなどの対策が進んでいる自治会もあります。これらの経験も含め、今後の地域を存続させていくための方策について、有効な資料となるデータがまとまりましたので、住民のみなさんには機会を設けて報告させていただきたいと考えています。

それぞれの自治会の組長さんには、ご協力いただき本当にありがとうございました。

2018 三和フェス ふれあいティバル

11/10(土)・11(日)

今年も11月に「三和ふれあいフェスティバル」を開催します。三和地域のさまざまな団体・個人が日頃の活動の成果を披露されます。場所は三和荘ホール（ステージ発表）・体育館（展示発表）・駐車場（模擬店）です。

模擬店の横では、丹波みわ・コトおこし協議会主催の「軽トラ市」も同時開催されます。

昨年は生徒さんにスタッフとして参加いただき大好評だった三和中学校に加え、福知山公立大学からも学生さんが参加予定です。10月にはチラシを配布しますので、お楽しみに！

編集後記

今年は夏の暑さも雨の降り方も異常と言っていいくらいでした。地震も多いですね…。どこで・いつ・何が起きるか分からないなぁって、考え出すとどんどん不安になってしまいます。これまで何もなかったのに、と地元の方が言われているところでも災害が起きているのを最近よく聞くようになりました。「今まで大丈夫だった」では済まなくなるかも知れないので、もしものための準備と心構えが必要だなと感じています。

ひとまず、水とラジオを買おう…。

ラジオは、三和荘についてとふれあいカフェでの公開収録

ＦＭ丹波で月曜～金曜午後4時から放送中の番組「七色バラエティワイド」内で隔月1回、三和地域協議会が三和地域の情報を発信している『みわを元気に』のコーナー。第6回が6月27日に、第7回が8月29日に放送されました。

第6回は三和荘の山脇達也支配人をお招きし、みわこどもまつりや三和荘について、そしてみわ夏まつりについてお話しました。

第7回はコーナー初の公開収録という形で、8月17日に開催したみわふれあいカフェの会場にて収録した音源を流していただいています。みわふれあいカフェについて、カフェのメンバーを中心にお話いただきました。

下のＱＲコードを携帯電話・スマートフォンやタブレットで読み取り、出てきたリンク先をクリックすると、内容をお聞きいただけます。（通信料がかかります）

初の公開収録となりましたが、とても楽しい雰囲気で行うことができました。これからも、三和にお住まいであったり、縁のあったりする方々にたくさん出ていただいて、たくさんお話を聞けたらと思っています。

公開収録後にパチリ

第７回　第６回